

**公益財団法人宗像ユリックス**  
**令和4年度事業計画**

令和4年 3月

公益財団法人宗像ユリックス

< 目 次 >

1. はじめに	1
2. 令和4年度管理運営の基本方針及び事業について	
(1) 基本方針	2
(2) 事業運営	
① 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」	3～5
② 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」	6
③ 収2「利用者サービス事業」	7
④ 公2「文化芸術振興事業（文化事業）」	8～12
⑤ 公2「文化芸術振興事業（文化講座運営事業）」	13～14
⑥ 公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」	15～16
⑦ 公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」	17～18
⑧ 公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」	19～20
⑨ 公3「健康増進事業（テニスコート・パットゴルフ）」	21～22
(3) 法人運営	
① 組織・運営体制	23
② 財政運営	23

## 1. はじめに

新型コロナウイルスの影響が未だ収束される見通しがつきません。いつまた臨時休館になるのか。時間短縮営業になるのか。このような不安を抱えたまま、令和4年度の事業計画をたてなければならないことは、実に残念と言わざるを得ません。

一方で、令和4年度は当財団にとっては正念場ともいえる新たな指定管理期間に入ります。しかも、民間企業とのパートナーシップ協定に基づく、施設運営のスタートの年でもあります。これから2年間のパートナーシップ協定の市による評価が、より良いものとなるように全力をつくさなければなりません。

次期指定管理仕様書に基づく評価水準では新たに、多種多様な事業の実施や賑わい創出、等が盛り込まれています。最低でも、これら評価水準を満たす必要があり、さらにはその水準を上回る結果を残すことが今、求められています。従来どおりではなく、時代の流れに適した変化の潮流を巻き起こさなければならないのです。

これらを実現するために、具体的な実施計画をたて、半期ごとに進捗を確認し、その実績と反省のもとに次年度の計画をたてる、という仕組みに取り組み始めたところで、これまでの理事会でも報告させていただいたところです。この仕組みを深化させ、機能させていくことにより、変化の潮流に弾みをつけたいと考えているところです。

宗像ユリックスの設置目的である「市の魅力を市内外に発信できる多目的な公共施設として、文化芸術活動やスポーツ・健康レクリエーション活動だけに留まらず、様々な賑わいを創出し、市民の福祉の向上を図る場であること。」(仕様書から抜粋)等を念頭に、コロナ禍ではありませんが、積極的に攻めの姿勢で事業を展開していく所存であります。

また、施設そのものの老朽化も著しいため、お客様の安全安心を第一に考え、施設の保全、美化、補修等について、市とも速やかに協議を行い、適切に対応してまいります。

宗像市文化芸術振興条例には、文化芸術について、「市民等が心豊かに生活をするための糧となり、ひいては市民等相互の連帯感をつくり出し、共に生きる社会の礎となる」とあります。当財団としても、これらの考えを踏まえ、「文化芸術振興によるまちづくり」に寄与してまいらねばなりません。

新たな指定管理の年を迎えるにあたり、職員全員が当財団の役割等を再認識し、市民ニーズに基づく、柔軟な発想での事業展開に取り組んでまいる所存ですので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

## 2. 令和4年度管理運営の基本方針及び事業について

### (1) 基本方針

#### ◎文化芸術振興事業

宗像市文化振興条例に基づく「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」を改訂し新たに運用されるリビジョンに示される宗像市の文化行政の目標を実現することを目的とする。

「文化事業」では、その方策として①誰もが等しく優れた文化芸術の鑑賞と体験の機会創出②文化芸術を担う人材の発掘と育成③文化芸術のコーディネート機能強化④市民の文化活動支援⑤文化芸術のまちづくりへの活用⑥文化芸術の情報の集約と発信⑦文化芸術の後援者を募る友の会の運営——など、地域における文化の活用と振興を図る。

「文化講座事業」では、「新しい自分発見」「新しい地域文化の創造」「文化を通したコミュニティの創出」を目指して、自己研鑽を志す市民のための環境づくりに努めていく。

「プラネタリウム事業」は、最新の天文・宇宙の専門的な内容を、分かりやすく伝えることで、天文・宇宙・地球環境について考え、科学的なものの見方、考え方、広い視野を身につけることができる貴重な場である。単なる娯楽施設ではなく、知識と人々をつなげる機会を提供していく。

#### ◎公園施設等の管理運営事業

宗像ユリックスの目的・設置理念である「福北大都市圏の文化・スポーツ・レクリエーションの広域交流拠点」の基礎をなす事業である。学習、文化活動、地域の集会、イベント会場としてなど多様な目的で、地域の幅広い世代の方々が利用できる場を提供し、教育、地域文化の活性化を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。さらに、ネットワーク環境を整え、遠隔地を繋ぐリモート需要への対応を行なう。

#### ◎健康増進事業

保健福祉計画、健康むなかた21、宗像市スポーツ推進計画など健康、スポーツに関する諸計画に提唱されている趣旨や基本理念、施策等に沿ったかたちで地域住民の健康づくり、生きがいづくりの拠点となるのが目的である。心身ともに健やかな市民による元気な地域づくりにつながるよう、「総合的健康の維持・向上」のための健康増進事業や、各種スポーツイベントを開催していく。

## (2) 事業運営

### ① 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」

#### 【令和4年度の重点的取り組み】

- ・プロモーターへの営業活動を積極的に行ない、大型貸館事業を誘致し、利用者増につなげる。
- ・施設運営において、日常的に文化芸術を披露する場、鑑賞する場の提供を行ない、日常的に文化芸術に接する機会を創出する。

新型コロナウイルスによる利用者及び利用料金の減少を回復させると共に防止対策を講じ、両立を図っていく。市内はもとより、近隣市の企業や学校、プロモーターなどへの広報活動を行い、新たな顧客を創造し、貸出施設の利用率向上と利用料金収入の増加を図る。

施設利用状況の分析を行ない、定期利用者の確保や利用者数や利用料金の増加を目指す。常に、利用者のニーズを捉え、新たな施策立案を行ない、柔軟に対応する。

#### 【利用者数増への取り組み】

集客力のある大型イベントの誘致と、日々の会議や集会などの定期利用者の獲得を目指した広報活動を行う。無料駐車場、Wi-Fi 設備、静かな環境など宗像ユリックスの利点を前面に出した広告を行ない、会議室の新規利用者を獲得していく。

平日の利用者増を目的に、利用者に定着した、「スタジオ当日受付の半額割引」、「舞台で気軽にピアノレッスン」を継続実施に加え、大ホールアリーナのスポーツ利用の開拓を行なう。

館内レストラン、ワゴン販売店舗など、公園内各部署との連携に加え、公園へのキッチンカーの誘致のための条件整備を行ない、利便性向上と収益向上の両立を図り、利用者増を目指す。

#### 【日常的に文化芸術に接する環境の整備】

福岡県障がい者アートレンタル事業の作品を館内の公共エリアに展示し、文化芸術分野において障がい者が活躍できるまちの実現に寄与する。それに加えて、公園内各所にある石像や陶板、壁面絵画などをまとめた「宗像ユリックス・アートマップ」を整備し、日常的に文化芸術に接する環境を整備する。

#### 【職員の接客対応スキル向上】

施設に関する知識向上の研修を行なうと同時に、接客スキル向上研修へ積極的に参加する。

#### 【にっこり文化講座事業による施設利用率維持】

にっこり文化講座事業との連携による利用率向上を図る。施設営業部職員全員が、受講生増と利用率向上の意識を持った運営を行なう。

#### 【貸出備品の精査と改善】

「新しい生活様式」に根差したテレワークやイベント配信に対応できる環境の整備を行うと共に、利用者からの要望が多い備品の新たな整備や、劣化した備品の改修により、利用者の利便性向上を図る。

#### 【学習室の運営】

学習意欲の高い学生や社会人のために、公共施設の役割として学習室を継続運営していく。

#### 【市民ギャラリーの運営】

日頃から文化芸術活動に取り組んでいる方々の作品を発表する場所として、運営する。令和4年度は、市民ギャラリー内に市主導により開設される「宗像アートサロン」がスタートし、文化芸術の交流や情報共有の仕組みづくりへの試みがなされる。市とともに主催し、この試みによるさらなる文化芸術の鑑賞者をつくり手双方の拡大を目指す。

以上の政策により、「利用料金収入」、「施設稼働率」、「利用者数」の3大指標の向上を目指す。

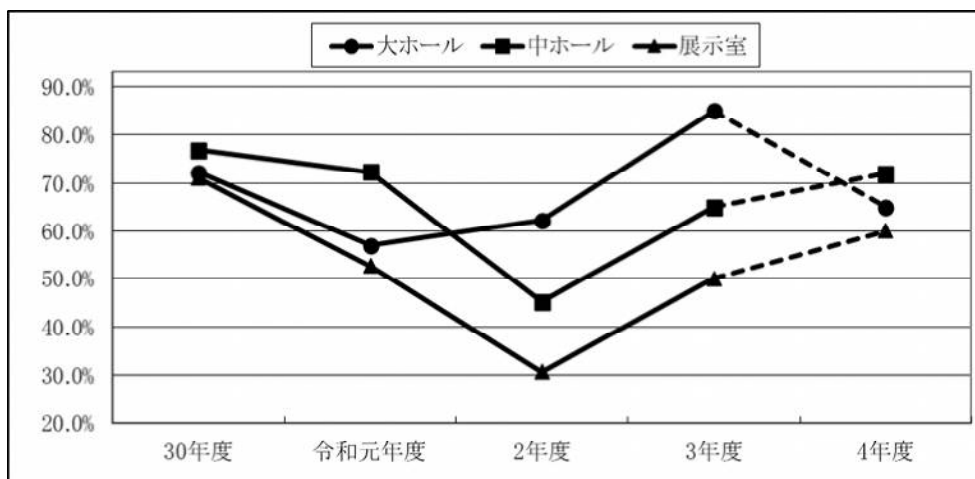
【 数値目標 】

・3大施設利用率の推移

※3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
3大施設利用率	73.4%	60.7%	46.0%	66.7%	65.7%
大ホール	72.2%	57.0%	62.3%	85.0%	65.0%
中ホール	76.9%	72.3%	45.1%	65.0%	72.0%
展示室	71.0%	52.7%	30.7%	50.0%	60.0%

※利用率は、貸出可能日数のうち利用された日数の割合



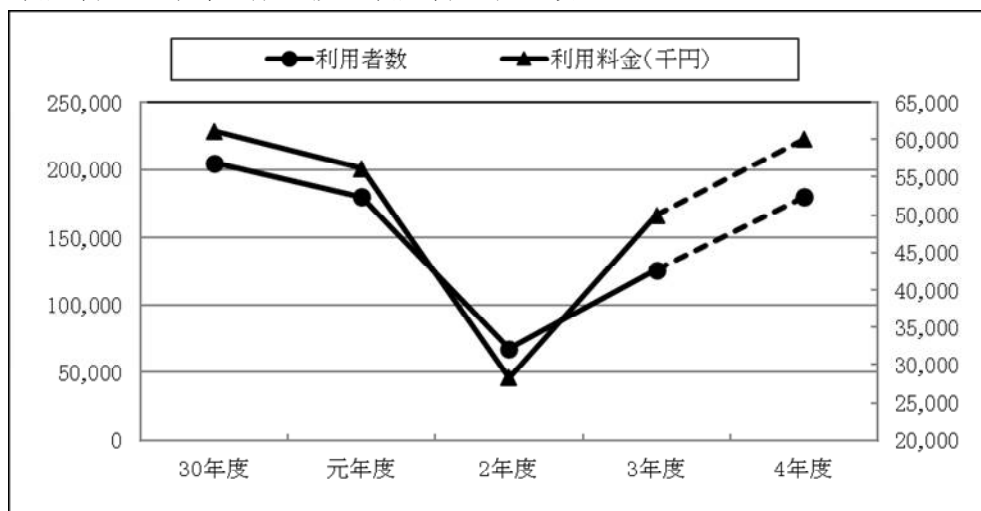
・本館利用者数、利用料金の推移

※3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
利用者数(人)	204,716	179,906	67,471	126,000	180,000
対前年比	103.9%	87.9%	37.5%	186.7%	142.9%
利用料金(千円)	61,105	56,143	28,229	50,000	60,000
対前年比	95.2%	91.9%	50.3%	177.1%	120.0%

※利用者数：本館一般施設利用者（図書館を除く）と視察者の合計人数

※利用料金：本館一般施設の利用料金収入額



② 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」

**【令和4年度の重点的取り組み】**

・東邦レオ株式会社とのアドバイザー契約に基づいて、園内植栽の美観の維持や固定経費のコスト低減のアドバイスを受けることによって、より市民の憩いの場所としての総合公園を目指す。

令和3年度は、文化庁の施設感染拡大予防の環境整備事業費を活用し、非接触型のトイレや、Wi-Fi環境の整備、キャッシュレス化、排煙設備の改修等を行なった

令和4年度はアクアドームの屋外庇の修繕を行なう予定。施工にあたっては、利用者とのトラブルや事故が起こらないよう、市の関係部署と連携し、調整を行いながら進めていく。

施設を安全快適にご利用いただくため、日々の不具合については、迅速に対応し、施設の長寿命化やユリックス来場者の事故ゼロを目指す。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための環境整備も継続して行っていく。

公園内の植栽は着実に管理されているが、令和4年度からは、東邦レオ株式会社からの中長期的な視点での提案を受けながら、快適な環境を維持管理していく。

南ゾーン芝生広場の芝生再生のためのランニング規制は、環境維持の為、引き続き1月から5月に実施する。

安全管理として、各設備の法定点検の徹底及び、例年実施している防災訓練を継続して実施し、不特定多数の来場者をお迎えする施設に勤務する、全職員の意識の維持向上を図っていく。

**【修繕状況】**

※令和3年度は見込値

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
修繕発生件数(件)	109	111	141	128	110
対前年度比	89.3%	101.8%	127.0%	90.7%	85.9%
修繕費(円)	19,063,810	18,772,583	21,846,584	27,970,933	25,000,000
対前年度比	90.2%	98.5%	116.4%	128.0%	89.3%



③ 収 2 「利用者サービス事業」

**【令和 4 年度の重点的取り組み】**

- お客様の利便性向上と収益向上の両立を図る。
- 特に令和 4 年度は、屋外施設利用者に対するサービス向上を重点的に行なう。

・ 自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために公園内の 33 ヶ所(うち 5 ヶ所は東京オリンピック 2020 聖火リレー記念自動販売機)に自動販売機を設置しており、売上額の 15～35%を手数料収入としている。来館された多数のお客様にご利用いただいている。

東京オリンピック 2020 聖火リレー記念自動販売機は、令和 3 年度をもって撤収する予定であったが、新規設置による利便性が高く、販売手数料も好調であるため、機器の設置を継続することを検討する。

・ 物品等販売事業

本館インフォメーション窓口において、傘、切手、収入印紙、テニスボールなどの販売事業を行なっている。一定の需要があるため、継続して販売を行う。利用者サービス向上に結び付く新たな販売物があれば、積極的に取り組んでいく。

弁当・花の注文代行サービスを積極的にお勧めし、手数料収入の増加を目指していく。

新たな販売収入事業として、芝生広場等、屋外にキッチンカーを誘致し、屋外利用者への利便性を高める。

#### ④ 公2「文化芸術振興事業（文化事業）」

##### 【令和4年度の重点的取り組み】

- ・多種多様な事業を展開する。
- ・賑わい創出事業を推進する。

宗像市文化振興条例に基づく「文化芸術のまちづくり 10年ビジョン」を改訂し新たに運用されるリビジョンに示された宗像市の文化行政の目標を実現することを目的とする。

第5期指定管理期間が始まる令和4年度は、これまでの方向性を堅持しつつ、引き続き宗像市文化芸術振興条例に定められた理念である「文化芸術に親しめる環境整備」、「文化芸術のための人づくり」、「文化芸術を活かしたまちづくり」、上記3点の実現に向けた具体的な取り組みを宗像市と協働し推進していく。

環境整備については、身近な場所での文化芸術の体験・鑑賞機会の創出に向け、従来通り、コミュニティ・センターや教育機関、福祉機関と積極的な連携を図る。人づくりについては、子どもから大人まで、文化芸術の作り手を支える活動を行う。特に、文化芸術に関わる学校の部活動に対して、積極的に支援を行なうとともに、まちづくりについて文化芸術団体との交流を図り、市民文化活動の活性化を推進していく。さらに、定着しつつある教育や福祉と連携したアウトリーチプログラムを継続させることで、活力のある地域の発展に寄与する。

##### 【指定文化事業】

必須型事業として指定された、「むなかた芸術祭」、「むなかた吹奏楽祭」、「むなかた文化祭」、「むなかた子ども芸術祭」の4つの事業に関して、それぞれの事業の目的を理解し、成果を出せるよう、財団担当職員がハブとなって運営に携わり、参加者同士のコミュニケーションを図る機会となると同時に、宗像ユリックスに対する愛着感を醸成する機会とする。

また、アウトリーチ事業では、市内全地域、ホールへ来場することが困難なすべての人を対象に、優れた文化芸術に触れる機会を提供する。コミュニティ・センター、教育機関、福祉施設と連携したプログラムとして定着させ、文化芸術の力で生きる喜びや感動する心などを育てていく。

### 【鑑賞型事業】

親しみのあるアーティストを招聘し、文化芸術に対して関心の薄い市民に対しても、良質な文化芸術に触れる機会を提供していく。ジャンルについては、文化芸術基本法に示される、芸術・映画・漫画などのメディア芸術、雅楽・能楽・文楽などの伝統芸能、講談・落語・浪曲・歌唱・ダンスなどの芸能、茶道・華道などの芸術文化、囲碁・将棋などの国民娯楽の中から、最低年4種以上の事業を選定する。多様なジャンルの催しを行なうことで、文化芸術への関心の導入を図り、市民団体との共演、観客との交流を行なうなど、市民参加の機会を企画していく。

### 【普及・育成型事業】

文化芸術を通して自己実現を図る場を創出するとともに、宗像の文化芸術を支える支援層の輩出を目標に、普及・育成型事業を今後の事業における重要な柱の1つに位置づける。過去、着実に実績を積み上げてきた音楽分野のみならず、美術、演劇、ダンスなど、多彩な文化芸術分野において、鑑賞講座、体験ワークショップなどの呼び込み型、学校や市内施設へのアーティスト派遣や出前公演などのお届け型、そしてアマチュアアーティストの活動支援などの育成型などの各種事業を実施し、さまざまな形態での文化活動の推進を図る。

#### ・ユリックス ジュニアプラス

平成26年にスタートし、子どもたちが多くの練習の時間を共有し、音楽を創りあげていく過程を経験している。卒団生の多くは中学校・高等学校吹奏楽部での活動を継続しており、長期的には地域の文化活動の活性化が期待できる。

#### ・学校の文化芸術教育支援

宗像ユリックスは市の公共施設として、文化芸術の分野において学校と協議しながら、子どもたちの自己肯定感醸成に寄与する。いままで作り上げてきた吹奏楽など音楽の分野に対する継続支援に加えて、ダンスについての支援にも重点を置いて実施。宗像ユリックスが文化芸術の活動と発表の拠点となり、生徒・児童と社会を結び、宗像ユリックスへの愛着感を醸成していく。

・発表の場の提供

芸術活動への積極的動機づけを目的に、「多彩な芸術作品に触れる機会」、「市民の文化芸術作品の発表の場」としてホワイエなどを提供。文化芸術活動を行なう市民が、無償で発表できる機会を創出していく。

**【賑わいづくり事業】**

パートナーシップ事業受託事業者やココカラ日の里などと連携した社会実験的活動を宗像ユリックスで活かし、更なる魅力向上を図る。さらに、若手アーティストの発信支援や、アーティスト個人の魅力を伝えることによるファンづくりを行う。

また、来館者の満足度向上を目的に、図書館やレストランなど、館内各施設との連携事業を行なっていく。

**【連携・協働体制】**

団体との連携としては、宗像市が推進する「協働によるまちづくり」に基づき、地区コミュニティ活動の推進に寄与する取り組みを今後も進める。具体的には、各地区のコミュニティ運営協議会の協力を得て、家庭内で孤立しがちである未就園児とその保護者の出会いと交流の場となることを目的に、コミュニティ・センターでの「いきいき出前コンサート」を協働で推進していく。子ども向け事業については、宗像市及び教育委員会等と連携し、スムーズな情報伝達を図る。

**【ユリックス スマイルクラブ】**

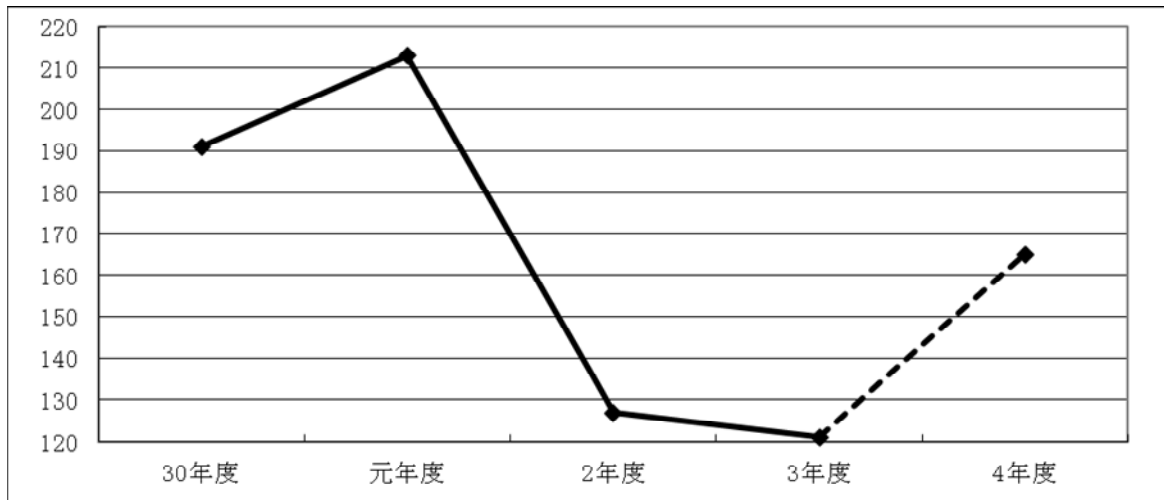
ユリックスの顧客創造に寄与する「ユリックス スマイルクラブ」の会員数増を目指します。子育て世代への支援策として、会員特典の託児サービス無料提供を引き続き行っていく。

【数値目標】

事業本数（ジャンル別）

※3年度は見込値、4年度は予定値

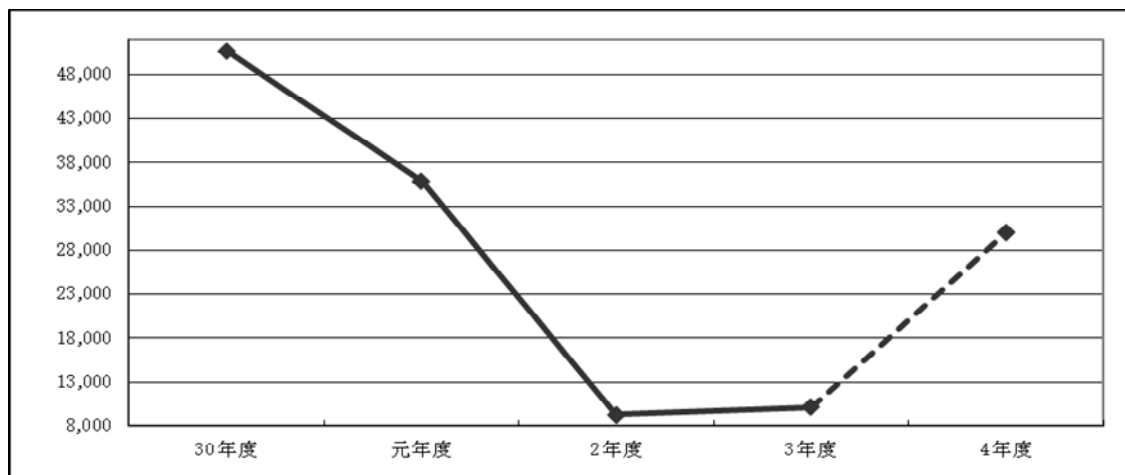
事業ジャンル	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
音楽（クラシック）	15	12	4	2	5
音楽（クラシック以外）	12	8	4	7	13
映画	12	12	8	12	12
演劇・古典芸能・舞踊	3	3	9	3	4
美術	3	1	0	1	3
アウトリーチ	87	76	36	37	60
その他（ワークショップ他）	59	101	66	59	68
合計	191	213	127	121	165



文化事業・入場者数の推移

※3年度は見込値、4年度は目標値

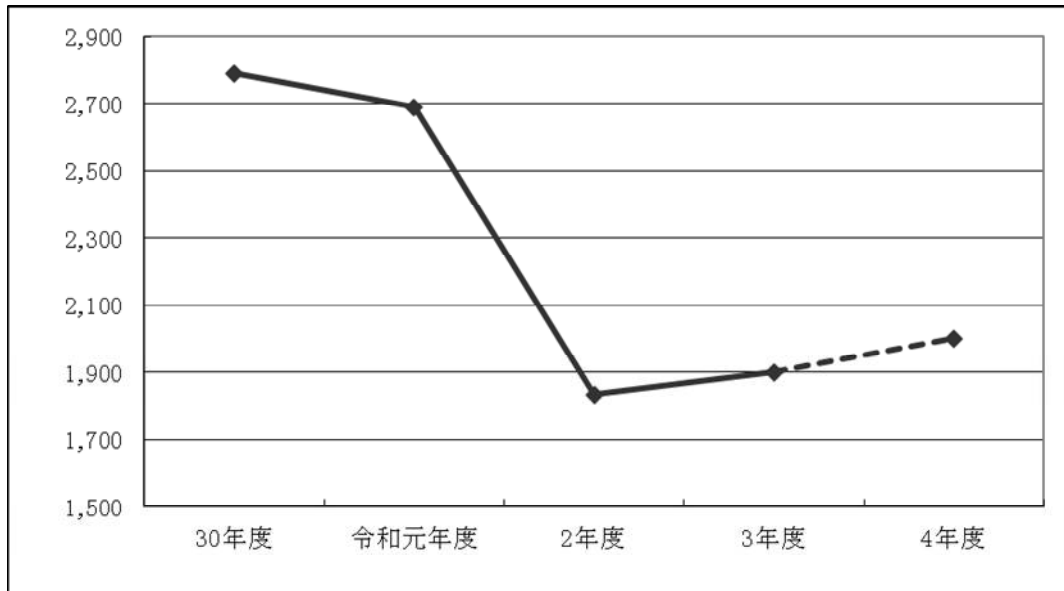
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
入場者数(人)	50,713	35,940	9,255	10,082	30,000
対前年比	101.4%	70.9%	25.8%	108.9%	309%
対前年人数	676	△14,773	△26,685	827	19,918



ユリックススマイルクラブ会員数の推移

※ 3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
会員数（人）	2,791	2,689	1,833	1,900	2,000
対前年比	104.5%	96.4%	68.2%	103.7%	105.3%
対前年人数	121	△102	△856	67	100



⑤ 公2「文化芸術振興事業（文化講座運営事業）」

**【令和4年度の重点的取り組み】**

- ・小学生、高齢者、主婦層という、3つのお客様層のうち、令和4年度は特に小学生に重点を置いた取り組みを行ない、受講者を増やしていく。

新型コロナウイルスによる受講者数の減少を回復させることを目標に、感染症対策を行ないながら、受講生9,000人（月間750人）を目指す。

講座内容は、宗像ユリックスの特徴を活かした音楽、絵画、文学やスポーツの分野を軸に、シニア層に人気の教養を高めるための文学・歴史などの講座や子育て世代へ向けた講座を実施。お客様にとって新しい習慣を提供し、それをコミュニティづくりにつなげる。

**【受講者数増への取り組み】**

講座内容は、宗像ユリックスの特徴を活かした音楽、絵画、文学やスポーツの分野。プログラミングに関する講座やオンライン講座など、時流にいち早く応えるべく新しい講座開発を行っていく。

・ 高齢者

仕事をリタイヤした、子育てが一段落した方を対象に平日の昼間に楽しめる講座を展開。学び、作り、発表する楽しみの他、趣味を通してできる新たなコミュニティを作る。

・ 小学生

学校や家庭で学び、体験できないことを、宗像ユリックスで体験できる講座を展開。夏休み、冬休みを中心に、企業や地域の専門家との出会い、新しい体験を通して子どもたちの可能性を広げる。

・ 主婦層

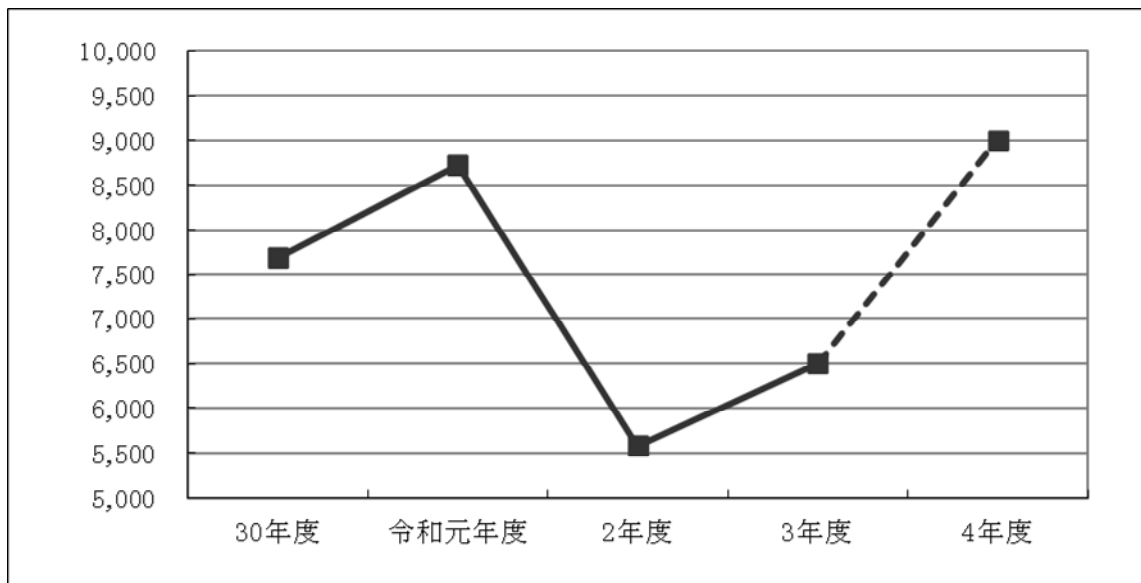
子育て中の主婦の充実した生活を創出する講座を展開。未就園児の託児は無料サービスとし、音楽や絵画などの芸術、テニスやジムなどのスポーツで自分時間を作ることと、同じ境遇にいる友達との新しい出会いの場を提供する。

【数値目標】

文化講座 受講者数の推移

※令和3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
常設講座受講者数(人)	7,688	8,724	5,578	6,500	9,000
対前年比	-	113.5%	63.9%	116.5%	138.5%



文化講座 講座数および受講料収入の推移

※令和3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
常設講座数	85	97	69	87	95
短期講座数	12	25	6	3	20
受講料収入 (千円)	26,440	31,939	19,089	24,000	30,000



⑥ 公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」

**【令和4年度の重点的取り組み】**

- ・子育て世代向けプログラムを提供する。

来場者のニーズを先取りしたプログラムの提供、天体観望会や小学生向けの講座「ほしぞら友の会」の実施、ボランティアの活動支援など、地域に根差した活動などを継続していく。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、入場者数が大きく減ることとなった。このような状況の中で、ドーム映像作品の上映や、図書館・ユリックス他部署との連携など、新たな試みも進めていきたい。基本となるこれまでのプログラムを維持しつつ、こうした試みを並行実施することで、新規顧客を開拓しリピーターを確保していく。また、各種機器が寿命を迎えており、安定した運営のため計画的な機器更新を宗像市に提案していく。

**【来場者に合わせたプログラムの提供】**

現在、来場者の年齢層などに合わせたプログラム提供を継続し、専門解説員による全編生解説を実施することで、近隣他館との差別化ができ独自の魅力となっている。令和4年度も、ドームイベントなどの新たなジャンルのプログラムを模索する他、他部署と連携して新規顧客の開拓と継続した入場者増を目指す。

こども向けプログラムは、来場者がいつ来ても違った内容を楽しめる取り組みが功を奏し、安定した集客を保っている。人気安定しているため、今後もこの方針を続けていく。

これまで10年間実施してきたリラクゼーションプログラムを、「スターリーミュージック」と一新し、新たな音楽・映像を楽しんでもらうプログラムとして定着させ、リピーター増に繋げていきたい。

おとな向けプログラムでは、「惑星の動き」や「月」、「ニュートリノ天文学」「プレアデス星団」といったものをテーマとして取り上げ、プログラムを制作・実施する。

また、令和2年より実施を始めたイベントとして、今年度は「小さな世界はワンダーランド」という小動物を取り上げた映像作品上映を計画している。主に小学生をターゲットに広報、周知を行い、このプログラムをきっかけに、プラネタリウムや宗像ユリックスに足を運んでもらえるようにしたい。

**【団体利用の促進】**

学校団体利用は、児童・生徒にとって貴重なプラネタリウム体験の機会であり、市内学校による利用が定着している。また、保育所・幼稚園や、放課後等デイサービスによる団体利用が好調である。今後も、こうしたニーズに対応し、柔軟に団体予約を受け入れていきたい。

### 【天文普及に関わる事業】

天文普及に関する事業として、毎年春から秋の時期に計5回実施している観望会「ほしぞらウォッチング」の他、通年で月1回の小学生対象の講座「ほしぞら友の会」を行っている。これらの天文普及に関する事業を通じて、科学に対して興味・関心を持ち、正しい科学知識、活用能力を持つ子どもたちを育み、将来を担う人材育成の場としていく。

### 【ほしぞらスタッフ（ボランティア）による天文普及活動の支援】

現在、ほしぞらスタッフは、市内外より41人の登録がある。観望会や各種イベントの企画・実施など幅広く活動していただいている。今後、ボランティア自身が楽しめるような活動のあり方について引き続き検討していく。

### 【広報活動の工夫】

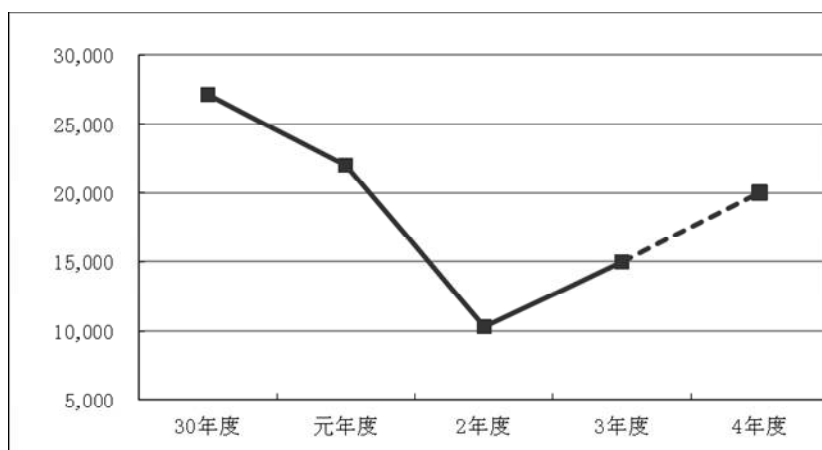
学校や保育所・幼稚園、放課後等デイサービスなどの団体に向けて、団体利用の案内を続けている。さらに、市内小学校の利用者（児童）には招待券を配布し、その後の来場に繋げる工夫を行っている。また、個人来場者に対しては案内送付など、入場者数増に向けた広報活動を継続してきた。さらに近年は、Facebook や Twitter など、SNS の口コミを利用した広報や広告も一定数の効果をあげていることから、こうした手法を積極的に活用していく。

### 【数値目標】

・プラネタリウム入場者数の推移

※3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
入場者数（人）	27,119	22,039	10,313	15,000	20,000
対前年比	96.5%	81.3%	46.8%	145.5%	133.3%
対前年人数	△1,000	△5,080	△11,726	4,687	5,000



⑦ 公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」

**【令和4年度の重点的取り組み】**

・宗像市スポーツサポートセンター及び宗像市スポーツ協会との連携を強化した事業展開をはかる。

**【アクアドーム】**

国や宗像市における、健康・スポーツに関する計画等の趣旨・基本理念等と合致することを基本に、利用者の「総合的健康の維持向上」を行なう。

健康づくりに関する情報収集や情報発信は、ホームページやアクアドーム新聞等広報媒体によって行っていく。

市の施設として、特定保健指導や介護予防事業、スポーツ推進計画など、宗像市の健康づくり事業を積極的に実施する。特定保健指導の積極的支援、動機づけ支援、特定健診結果説明会での運動指導、特定保健指導対象者に指導参加を促す電話勧奨を行う。スポーツサポートセンター及び宗像市スポーツ協会との連携を強化していく。

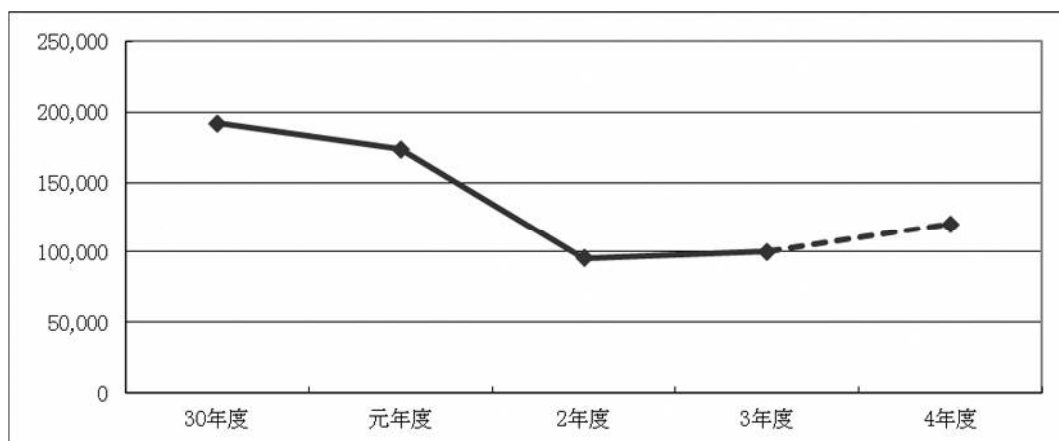
宗像市スポーツ推進計画にある「ノルディックウォーク」を広める活動の支援を行なう。宗像市国保医療課の宗像市運動施設利用料金助成事業の枠をさらに広げ、健レク事業でも活用し、施設利用者増を目指す。

**【数値目標】**

アクアドーム入場者数の推移

※令和3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
入場者数（人）	191,925	173,503	95,584	100,000	120,000
対前年比	97.5%	90.4%	55.1%	104.6%	120%



### 【ゆ〜ゆ〜プール】

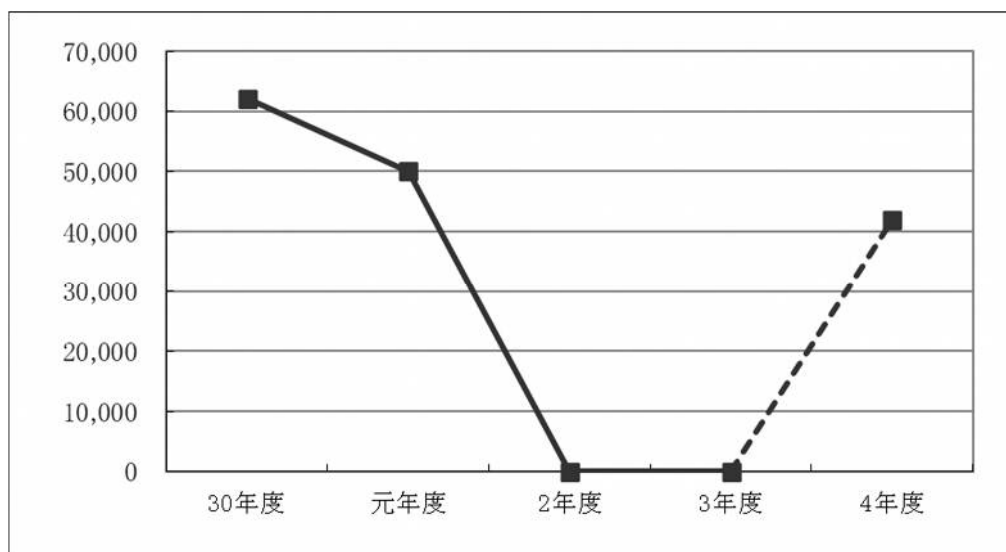
プールサイド等の利用環境が改善され、より快適なレジャープールとなっている。実施可否も含め、宗像市と協議の上、感染症対策を行いながら、幼児・小学校低学年が楽しく安全に遊べるサービスを実施していく。

### 【数値目標】

ゆ〜ゆ〜プール利用者数の推移

※4年度は目標値

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
入場者数（人）	62,091	50,003	中止	中止	42,000
対前年比	93.9%	80.5%	—	—	—
対前年人数	△4,068	△12,088	—	—	—



⑧ 公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」

**【令和4年度の重点施策】**

- ・利用頻度を向上させることによって利用者数増をはかる。
- ・様々なスポーツイベントを開催することにより、人々の心身の健康づくりと活力のある地域づくりに貢献することを目的とする。

**【ウエルネスクラブ】**

夜間利用者であるナイト会員の利用を促進することを目的に、令和4年度は夜区分にスタジオレッスンを1レッスン増設し、週4レッスン開催予定。また、スタジオレッスンが行われていない時間帯に、ウエルネスクラブ会員限定で、スタジオAをストレッチ等のスペースとして開放し、利用者の利便性向上を図る。プールでは、夜区分に水中運動クラスを1レッスン増設。

**【プール】**

プロ・アマを問わず各競技団体等に、温水プールを活用した「アクティブレスト」を勧める活動を実施する。また、ウエルネスクラブ会員のみでなく、スイミングスクール受講生や一般利用者向けにスイムビデオの撮影を行う。

普段、水泳のみの利用者や、アクアビクス初心者を対象に、アクアビクスのイベントを実施し、スイミングスクール全体の活性化を行なう。

7月・8月のスイミングスクール休止期間に、1回ごとの参加費で参加できる「水中運動教室」、「初級水泳教室」、知的障がい者を対象とした「ペアペアチャレンジ」を実施する。新たな取組みとして、お手軽感覚で参加できる30分のプールレッスン「ちょいプール」を開催。プールレッスンの気軽な機会を提供することで、利用者増を目指す。

また、令和4年度中に、アクア（水中）ノルディックを実施する予定。

**【スタジオ】**

若年層をターゲットとして、日曜日に有料のスタジオレッスンを2本追加する。これにより、会員への誘導や、運動の継続を促進する。

スタジオ祝日イベント開催。ボクササイズや、ヨガ系の30～50歳代の女性限定のレッスンや、男性限定のレッスンを開催予定。

スタジオBで陸上運動の「わくわくクラブ」を増設予定。

また、スタジオレッスンの新たな取組みとして、30分単位の『ちょいスタ』を定期的  
に実施する。気軽に参加できる内容とし、定期利用者の利用頻度向上を目指す。

#### 【屋外】

ランニング初心者や愛好家を対象とした、ランニング練習会を年間10回実施予定。広  
報紙で広く告知を行ない、アクアドーム利用者以外の受け入れも行う。

宗像市商工観光課が発行している「宗像・岡垣登山マップ」を活用した登山イベントを  
行う。また、身近な運動の紹介としてノルディックウォーキングイベントを実施する。  
芝生広場を活用した、グラウンドゴルフ大会も開催する。

#### 【その他】

日常、お店で購入している食品の手作り教室を開催。食育をベースに伝統知識の伝承や、  
健康づくり情報を提供し、地域の活性化を図る。また、手作りした食品の栄養面に関して、  
管理栄養士によるアドバイスを行う。更に、作業中や終了時に、運動指導員が健康づくり  
アドバイスやストレッチ等を行なう。簡易的かつ実践しやすいシステムで栄養分析を行な  
う。アクアドームの特徴を活かし、他施設との違いを出す。現在実施している「柚子胡椒  
づくり」は、人気のため、実施回数を増やすことを検討する。

新たな試みとして始めた、イベントホールを活用した100人規模のスタジオレッス  
ンを定期的  
に開催する。イベントホールの広いスペースを活かし、ソーシャルディスタンス  
をとりながらヨガやエアロビクスなどを開催する。

子どもたちや、子育て世代の親子を対象とした事業展開を行なう。子どもたちには、子  
どもの神経系発達のための運動を提供する。また保護者には、身体的な変化、アンケート調  
査などで運動前後の比較を統計的に処理し、運動の効果を検証する。

⑨ 公3「健康増進事業（テニスコート・パットゴルフ）」

**【令和4年度の重点的取り組み】**

- ・テニス愛好者の利便性向上を目指し、コート予約システムの導入を目指す。
- ・パットゴルフ利用者増を図るため、積極的な営業活動を行なう。

**【テニスコート】**

幅広い年齢層の健康維持のため、テニスコートの継続的な運営を行なう。新規利用者を取り込むため、販促チラシを作成し、地域のスポーツ店や学校などに販促活動を行なう。

経年劣化によるコートの傷みは、定期的にメンテナンスを行ない、常に安全で気持ちよくプレーできる環境を整えていく。

テスト運用を経て、令和4年1月よりテニスコート代の支払いについてQRコード払いの受付を開始している。利用者の声を聞き、より利用しやすく改善を行なう。

テニス人口の拡大を目的に、テニス愛好者の横のつながりを広げる広報に利用いただくため、クラブハウス内の掲示板の一般利用の条件整備を行なう。

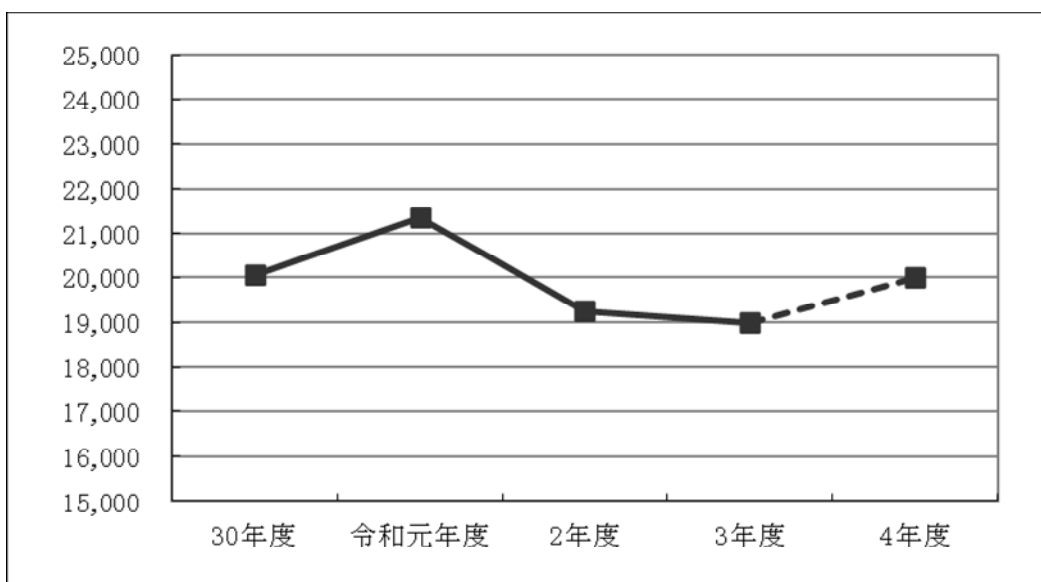
また現在は、空き状況の確認および予約受付を、電話または来館受付のみとしているが、インターネットを利用した空き状況を公開し、お客様の利便性向上を図る。

**【数値目標】**

テニスコート利用者数の推移

※令和3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
利用者数（人）	20,068	21,348	19,252	19,000	20,000
対前年比		106.4%	90.2%	98.7%	105.3%



## 【パットゴルフ】

令和3年度のパットゴルフ場は、8月11日～9月30日まで約2ヶ月間の休場にも関わらず、コロナウイルス感染症に影響されにくい屋外施設ということもあり、好調に推移した。

令和4年度は、好調な状況を維持するためにリピーターを確保しつつ、各地域のコミュニティセンターやシニアクラブ連合会への告知などの広報活動を行うことで、利用者数の増加を図りたい。また、親子ペアでの料金設定が好評なことから、ファミリー層への訴求を積極的に行っていく。

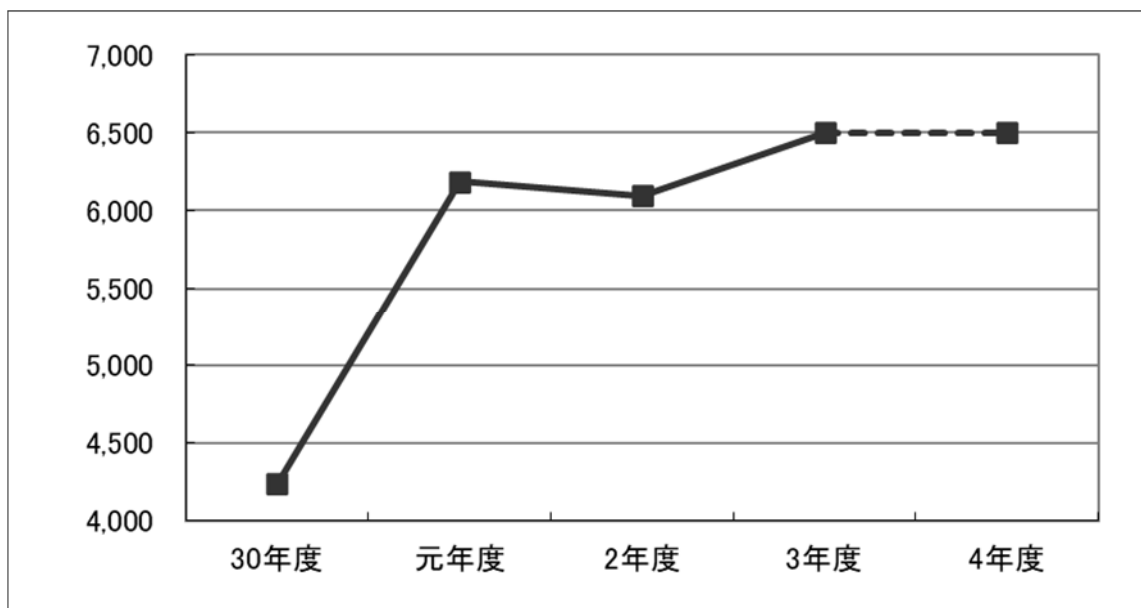
パットゴルフ担当職員は、わんぱく広場や芝生広場の監視業務も兼ねていることから、南ゾーン屋外の防犯拠点としての役割も果たしていく。

## 【数値目標】

パットゴルフ利用者数の推移

※3年度は見込値、4年度は目標値

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
利用者数（人）	4,235	6,188	6,096	6,500	6,500
対前年比	104.3%	146.2%	98.5%	106.6%	100.0%





### (3) 法人運営

#### 【令和4年度の重点的取り組み】

- ・アドバイザー契約に基づいた連携の推進、ノウハウの蓄積に取り組む

#### ① 組織・運営体制

新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした臨時休館や時短営業に伴い、コロナ禍の中での運営として3年度より、リモートでの職場のパソコンを遠隔操作できる環境を整えて在宅勤務も活用を始めた。4年度も、職場における新型コロナウイルス感染拡大へのリスク回避として、リモートでの勤務を推奨していく。

4年度よりアドバイザー契約に基づいた連携事業も始まっていく。人材は組織にとって重要な資産であることから、更なるスキルアップを目的とした職員研修の充実を図り、職員全員の能力を向上させるとともに、組織力の強化、ノウハウの蓄積を図っていく。

#### ユリックス職員数

(令和4.4.1 予定)

職 種	総務部	文化事業部	施設営業部	計
中 核	3	2	1	6
専 任	1	1	1	3
嘱 託	4	3	7	14
臨時A	4	1	1	6
臨時B	0	3	4	7
計	12	10	14	36

※中核の総務部には事務局長1人を含む

#### ② 財政運営

令和3年度は、政府による緊急事態宣言発出の影響により、上期において休館が2ヶ月、時間短縮が2ヶ月となり、通常営業は4月、7月の2ヶ月のみだったが、イベントホールが新型コロナウイルスのワクチン接種会場となったこともあり、使用料に関しては、2年度よりも収益が増加した。令和4年度も新型コロナウイルスの対応をしながら、経費削減も含め収支の改善を計る。なお、指定管理期間前半（R4、R5年度）の指定管理料が後半（R6、R7年度）より25,000,000円多く割り振られているのは、アドバイザー契約費10,000,000円が前半2ヶ年に発生することによる。

年度	第一期 (R4) 指定管理費	第二期 (R5) 指定管理費	第三期 (R6) 指定管理費	第四期 (R7) 指定管理費	指定管理費 合計
予算年額	374,828,000	372,328,000	362,328,000	359,828,000	1,469,312,000
対前期増減額	—	△2,500,000	△10,000,000	△2,500,000	